

都立高校への転学・編入学・再入学 Q&A

Q そもそも、転学・編入学・再入学ってなんですか？

A 次の違いがあります。

		補欠募集の時期
① 転学	高校に在籍のまま、引き続き他の高校の相当学年に移る。	年3回、各学期末（3月、8月、12月）の補欠募集に応募できる。次の学期から転校。 ※定時制・通信制から、全日制の同学年への転学は、1年生の8月の補欠募集のみに応募できます。
② 再入学	中退した人が再度1年生から入学する。	2～3月に行われる一般の入学試験を受ける。4月から入学。
③ 編入学	1年生以上の課程を修了した人が対象。一度退学した後に改めて2年生以上に入学する場合。	年1回、第3学期の学期末（3月）の補欠募集にのみ応募できる。4月から入学。 ※専修学校や各種学校から高等学校への編入学はできません。

Q 転学・編入学は、どんな試験ですか？再入学と違うのですか？

A 転学・編入学の試験は、全日制普通科の場合は、学力検査（国・英・数）と面接が基本的には多いです。転学・編入学の後、その学校の教育課程に対応できる十分な力があるかどうかを問う内容になります。したがって、だいたい、その学校の各学期末試験くらいの内容と考えておくとよいと思います。一部、小論文と面接または、作文と面接という学校もあります。問題は各高校で作成され、倍率等は公表されていません。2名の募集があっても1名しか応募していなくても、水準に達していなければ「合格者なし」ということもあります。

面接の内容は学校によりますが、転学・編入学後、きちんと通学して授業に意欲的に取り組み、さまざまな高校生活に積極的に参加できる意欲があるかなどを聞かれることが多いようです。

再入学は、一般の入学試験を受けることになります。

いずれにしても、高校の先生や中学の先生に相談することをお勧めします。

Q 定時制高校・通信制高校から全日制高校に転学できますか？

A 第1学年の第二学期の補欠募集に限り、定時制課程や通信制課程から全日制へも出願することができます。それ以外の場合は取得済の単位によります。

Q 都立高校の補欠募集は複数校受けられるって本当ですか？

A 複数の高校に出願することができます。補欠募集については、高校により、学力検査等の日程がちがうためです。ただし、最初に入学許可された高等学校へ転学・編入学する（その日以降の受検を辞退する）ことが条件です。

▼詳しくは、[東京都教育委員会ホームページ](http://www.kyoiku.metro.tokyo.jp)をご覧ください。

都立高等学校の転学・編入学について

<http://www.kyoiku.metro.tokyo.jp/buka/gakumu/tennyu.htm>

全日制高校

普通科（普通高校）

専門学科（専門高校／職業高校） 農業、工業、科学技術、商業、課程、福祉、体育、
ビジネスコミュニケーション、国語、産業 など

総合学科（総合高校）

エンカレッジ・スクール（全日制）

「2人の担任できめ細かな指導」「基礎・基本を徹底した授業」などを特色としている学校です。

高等専門学校

都内には国立1校、都立1校、私立1校があります。

学 科 工学、航空宇宙工学、商船、デザイン、経営情報、コミュニティ情報、国際流通など

5年制 ※大学3年生に編入も可能です。

定時制高校

普通科・専門学科（農業・工業・科学技術・商業など）

4年制 ※一部、3年間で卒業できる学校もあります。

4時間授業で、時間帯は **夜間・中間・午前中** とさまざま

チャレンジ・スクール（昼夜間定時制・単位制・総合学科）

午前・午後・夜間の各時間帯の3部の中から選んで入学できます。

不登校や高校を中退した経験などがある人も受け入れています。

一般の入学試験では、学力考査や中学校からの調査書によらず、生徒の学習意欲を重視して、入学選抜を行います。志願理由を書いて願書と一緒に提出しなければなりません。編入学試験も作文・面接により選抜を行います。

通信制高校

自宅学習 + 添削指導
(レポート：年間約60～70通*) + 仲間づくりもできる
スクーリング*
(年間約20～24日登校) + 試験

等による教育。自宅などで自学自習をしたい人に向いています。

*都立の通信制高校で単位を3年間ですべてとる場合のイメージです

※通信制課程を受けている生徒を対象にして学習に対する支援を行うサポート校があります。

※このほかにも、専修学校（高等課程）があります。

専修学校

専修学校（高等課程）は、通信制高校と技能連携し、高卒資格が取得できるところもあります。

課 程 専門課程、高等課程、一般課程

さまざまな進級・学習の制度

学年制：学習する教科・科目が学年ごとに定められており、その学習成果が認められると単位が与えられ、次の学年に進級する制度です。学年ごとに定められている単位をとれないと次の学年に進級できません。

単位制：学年の区別がなく、修業年数の中で入学から卒業までに決められた単位数を習得すれば卒業できる制度です。「留年」という考え方がありません。

メッセージ

子どもがいてもあきらめない！ 都立高校の通信制課程の保育室を利用して卒業しました！

Aさん 私は22歳の時に、都立の通信制高校に入学しました。動機は、自分の将来のため、そして、保育室があったからです。保育室に子どもを預けられたおかげで、土曜日に登録した授業や自習を行えて、本当に感謝しています。結果、私は、卒業まで5年かかってしまいましたが、頑張り次第で、3年間での卒業も可能です。高校では、学業はもちろん、あきらめないで最後までやり遂げるこの大切さも学んだ気がします。「子どもがいるから」と高校をあきらめてしまう前に、高校卒業をめざしてみませんか？

※学校に保育室がついている都立高校は、新宿山吹高校通信制と一橋高等学校通信制です（2014年3月現在）。

進路相談、教育相談などの相談窓口

「青少年リスタートプレイス」(東京都教育相談センター内)

高校を中退した方、高校での就学経験のない方等の相談窓口。

★・[進路相談会]新宿と立川で、進路相談会を年5回開催。

- ・[つどい]アドバイザーからの助言を交えて、学び、考え、語り合う場
- ・[就学サポート]登録した方の中でいずれの学校にも籍のない方を対象に、進路に関する面談を計画的・継続的に実施。

教育相談一般 ☎ 03-3360-8008

高校進級・進路・入学相談 ☎ 03-3360-4175

📄 <http://www.e-sodan.metro.tokyo.jp/>

都立高校の入試については(転学・転入相談を含む)

「都立高校入試相談コーナー」 都庁第2本庁舎内

☎ 03-5320-6755

📄 http://www.kyoiku.metro.tokyo.jp/pickup/p_gakko/nyusen.html

高校の一覧がほしいとき、詳しく知りたいときは

《都立高校(全日制、定時制、通信制)》

東京都教育委員会のホームページ「都立高校検索サイト」

東京都教育庁総務部教育情報課

☎ 03-5320-6733

📄 <http://www.kyoiku.metro.tokyo.jp/school/>

《都内の私立高校》比較的柔軟に転入学・編入学を受け入れている学校もあります。

一般財団法人東京私立中学高等学校協会

「東京私学ドットコム」

📄 <http://www.tokyoshigaku.com>

※各学期末に、転・編入学を行う「実施校一覧」の情報が出ます。

《都内の専修学校》

東京都専修学校各種学校協会

☎ 03-3378-9601

《都内の高等専門学校》

都内には3校(国立、都立、私立)あります。

📄 http://www.mext.go.jp/b_menu/link/koutou.htm

《都内のサポート校》

通信制サポート校・東京ネットワーク

📄 <http://www.tokyosnet.info/index.html>

《都立特別支援学校高等部》

東京都特別支援教育推進室 教育庁神楽坂庁舎内

☎ 03-5228-3433

コラム

どうやって高校を選べばいいの？

まずは、「高卒の資格が取りたい」のか、「高校生活をやり直したい」のかを考えてみてください。

高校の雰囲気やシステムはさまざまです。都立定時制高校は、夜間だけではなく、午前、午後の時間帯に学び3年間で卒業できる学校もあります。また、都立の通信制高校は、スクーリング(年間20~24日間登校し面接指導を受ける)が主に土曜となっていて、自宅等で自学自習ができる人・したい人に適しています。

私立の通信制高校は、編入学しやすいところもありますが、料金やシステム、設備は千差万別です。また、通信制高校と併せていわゆる「サポート校」に通う場合には、費用がその分かかることも注意が必要です。パンフレットや新聞広告などだけでなく、できるだけ見学をして確かめましょう。できるなら、(元)在籍高校の先生や出身中学校の先生にも相談することをお勧めします。

※都立高校では、学校訪問を受け付けています。学校見学会、学校説明会、体育祭、文化祭等の日程は東京都教育委員会のホームページ「学校案内」ページからみられます。

📄 http://www.kyoiku.metro.tokyo.jp/pickup/p_gakko/annai.html

10月下旬~11月上旬

都立高等学校等合同説明会(主催:都立学校教育部)が開催されます。高校ごとのコーナーで担当の先生に直接相談できます。また、学校案内などの資料も入手できます。